

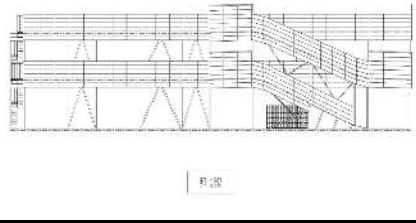
この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

# CASBEE 新築[簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010bpi&bei(v.2.11)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	モアステーション大和ライクの街自走式立体駐車場	階数	地上2F
建設地	大和市中鶴間二丁目2753番3	構造	S造
用途地域	準工業地域、指定なし	平均居住人員	239 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年11月 竣工	評価の実施日	2015年2月26日
敷地面積	3,190 m <sup>2</sup>	作成者	日成ビルド工業(株)
建築面積	1,296 m <sup>2</sup>	確認日	2015年2月26日
延床面積	2,418 m <sup>2</sup>	確認者	日成ビルド工業(株)



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.6

S: A: B+: B-: C:

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

参照値: 100%

建築物の取組み: 72%

上記+ 以外の: 72%

上記+: 72%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境(敷地内): 2

LR1 エネルギー: 3

LR2 資源・マテリアル: 2

LR3 敷地外環境: 2

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.2

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0

音環境	温熱環境	光・視環境	空気質環境
N.A.	N.A.	N.A.	N.A.

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.4

機能性	耐用性	対応性
N.A.	2.8	2.0

#### Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.1

生物環境	まちなみ	地域性
1.0	3.0	2.0

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.1

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.4

建物の	自然エネ	設備システ	効率的
N.A.	3.0	4.0	3.0

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.6

水資源	非再生材料の	汚染物質
3.0	2.5	3.0

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2

地球温暖化	地域環境	周辺環境
4.1	2.1	3.6

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
可能な限り緑地を記し、景観に配慮した。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能 電源設備の浸水による停電を回避する対策を講じた。
Q3 室外環境(敷地内) 適切な緑地づくりに配慮した。	
LR1 エネルギー LED照明設備を採用し、設備システムの効率化を図った。	LR2 資源・マテリアル
	LR3 敷地外環境 LCCO <sub>2</sub> 排出量の抑制により地球温暖化への配慮を行った。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される